



園だより

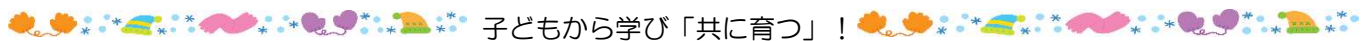
2024年1月4日

末長こぐま保育園

辻 敦美

新年あけましておめでとうございます。年末年始のお休み、ご家族でゆっくり過ごされたでしょうか。新しい一年が子どもたちと保護者の皆様にとって笑顔が溢れる年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

早いもので、年度替わりまで残り3か月となりますが、「子どもが中心の子どもたちのための保育園」であるよう、職員全員で子どもたちに対してできることを精一杯努めてまいりたいと思います。そして、きりん組の子どもたちにとっては最後の保育園生活となりますが、楽しい思い出とともに自信をもって歩み出せるよう、心の動きを丁寧に読み取りながら援助していきたいと思います。今年も子どもたちが「楽しい!」と思える経験をたくさん積み重ねることができるよう取り組んでいきますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



子どもから学び「共に育つ」!

入園、進級当初、乳児クラスの子どもたちはお迎えが来ると早くお家に帰りたい様子でしたが、最近では、幼児クラスの保育室や事務所を探検したり、お気に入りの場所をみたりと好奇心旺盛な姿を見かけます。そして、いつの間にかお兄さんお姉さんの名前を覚えて呼んでいたりと、保育室を覗いて探していたり、また、手を振ってもらえると嬉しそうな表情が見られ、そのような光景を目にすると子どもたちの成長を感じるとともに、心がほっとりと温かくなります。幼児クラスの子どもたちも、夕方になり園庭から戻るとクラスの垣根をこえて、自分が遊びたい場所や保育室で過ごし、年上の子どもたちは自分たちの言葉で約束ごとを伝えたり遊びのルールを教えたりする様子がみられます。異年齢児と一緒に過ごすことで、年上の子への憧れや年下の子をお世話する気持ちが自然と芽生え、また、遊びを通して子ども同士の関わりも広がっているのを感じ、そのような姿に大人の私も学ぶことがたくさんあります。まさに、「共に育つ」ですね。保育の中では、「環境による保育」の重要性が言われています。保育室や玩具の環境を整えることも大切ですが、子どもにとっての最大の環境は「人」だと思っております。友だちと経験したことや周りにいる大人から多くのことを吸収し、それが、その子にとっての根っことなり、少しずつ成長に繋げていくのではないのでしょうか。私たち保育士が行うべきこと、それは、子どもが「こうしたい」という思いを支え、「自分たちでできた」という満足感や達成感を持てるように、さりげなく援助していくこと、そして、一番大切なことは、愛され認められているという思いを伝えることだと思っております。これからも、子どもたち一人一人の頑張る気持ちや気づきにしっかりと目を向け、その子自身が嬉しいと思う言葉をたくさん伝え、笑顔で抱きしめてあげたいと思っております。今年も、子どもたちからたくさんの刺激をもらい、成長したいと思います。

～今月の行事予定～

- | | |
|--------|--|
| 5日(金) | 英語であそぼう(幼児クラス) |
| 12日(金) | 避難訓練 |
| 17日(水) | 交通安全指導員(5歳児クラス)
花の美保育室との交流保育
(乳児クラス) |
| 19日(金) | 英語であそぼう(幼児クラス) |
| 20日(土) | 懇談会(全クラス)
親子であそぼうふれあい会
(乳児クラス) |
| 25日(木) | 誕生会 |



～お知らせ～

-  連絡ノートの送迎者記載について
お迎えの際、ノートに記載していない方には、防犯上の観点からお引渡しができませんので、再度、ご確認の程よろしくお願いいたします。
例えば、お迎えが母の予定だが父の可能性もある場合は、今まで通りお電話をいただくか、もしくは、連絡ノートに父・母の両方に○印をお付けくださっても構いません。
何卒、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
-  災害時、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保をまとめた業務継続計画を作成いたしました。相談室と玄関に置きましたのでお知らせいたします